

地理関連学会連合第3回総会議事録(案)

開催日時：2001年3月25日(月) 12:00～14:10

開催場所：敬愛大学佐倉キャンパス10号館8階大会議室

1. 開会の辞 野上 道男 地理関連学会連合議長より

2. 出席学会

【運営加入学会】

地理情報システム学会(野上 道男)

日本地理学会(村山 祐司)

日本地形学連合(岩田 修二)

(社)東京地学協会(田辺 裕)

日本地理教育学会(白井 哲之)

日本土壌肥料学会(今川 俊明)

東北地理学会(阿部 隆)

地理科学学会(中山 修一)

日本生気象学会(福岡 義隆)

【賛同学会】

経済地理学会(阿部 和俊)

人文地理学会(石川 義孝)

日本環境共生学会(松岡 勝博)

(社)日本雪氷学会(岩田 修二)

日本国際地図学会(細井 将右)

日本地域学会(藤岡 明房)

(社)日本都市計画学会(中村 司朗)

日本陸水学会(森 和紀)

【書記役】

加藤 幸治(日本地理学会渉外広報委員)

議事に先立ち、出席者の自己紹介が行われた。

【議事】

1. 司会の選出

野上道男議長より村山祐司が推薦され、承認された。

2. 書記の選出

司会より加藤幸治が推薦され、承認された。

3. 審議事項

3-1. 地理関連学会連合主催シンポジウムの開催について

まず、前回総会以降、連合主催シンポジウムについて検討してきた阿部隆より説明があった。「環

境」「風土」などをキーワードに、開催の具体的内容・パネラー等について検討中であること、開催時期としては2001年夏～秋を考えていることが報告された。

シンポジウムの開催には各種助成金が必要ではないか、助成金が得られない場合はどうするのか、といった意見が出された。

助成金交付の有無に関わらず、シンポジウムを開催する方向で検討を進めていくことを確認した。ただし實際上、助成金は必要であり、助成金申請との関係からシンポジウム開催時期は来春頃を中心に検討することを合わせて確認された。

3 - 2 . 研究集会（主催シンポジウム）のための助成金申請について

上記シンポジウム開催のための助成金を地理関連学会連合名で申請することが提案され、承認された。いずれの団体に助成申請を行うか、申請団体等によってはシンポジウム実行委員会を設立すること等については、阿部隆を中心に運営加入学会間で検討していくことが確認された。

3 - 3 . ニュースレター（情報）の定期発行について

村山祐司より次のような説明がなされた。現在、連合ではホームページ（HP）において、24加入学会のHPとリンクして、情報提供・事務連絡等を行っている。今後は、国際学会の開催予定、IGU関連情報などを連合名で発表していきたいこと、各学会より連合に積極的に情報提供をしてもらいたいことが報告された。

各学会・国際学会の開催日時・場所等を明記した地理学関連行事予定表（「地理学行事カレンダー」）のようなものがあると大変有意義ではないかとの意見が出された。また、連合から各学会に情報提供項目について指定した方が、各学会では対応しやすいとの意見が出された。

HPの運用も含め、現在連合の事務については日本地理学会に委託している。これらの意見も踏まえて、日本地理学会（具体的には渉外広報委員会が対応することになるであろう）に対応してもらうことを確認するとともに、連合として情報の発信（HPの随時更新）に努めていくことを確認した。

ここでのニュースレターとは、HPの随時・定期的更新を意味し、従来型の紙媒体・印刷物等を発行することではない。

3 - 4 . 国際地理学連合（IGU）次回大会（2004）への取り組みについて

IGUについては日本学術会議第4部地理学研究連絡委員会（地理学研連）の専権事項であるが、連合としても側面支援をしていきたい旨が提案された。

田辺裕 IGU 副委員長から、関係委員会の集会開催予定や、IGUでは現在「世界の地理学者・Who's Who」の作成を企画中であることが報告された。

いずれも正式連絡や依頼は地理学研連が窓口であり、対応も地理学研連が行うものであるが、連合としてもこれらに対して積極的に支援していくことを確認した。